

持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島  
～世界を舞台とした教育プログラムと地域の産学官連携による人材育成～

○ステップステージ第三回セミナー（地学分野）

開催日時：令和元年9月16日（月・祝）10：30開始

場所：広島大学東広島キャンパス 情報メディア教育研究センター本館

アクセス：

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop\\_higashihiroshima/aca\\_7](https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop_higashihiroshima/aca_7)

※ 前回と会場が異なっております。

※ 開始時間に間に合わない場合、欠席の場合は9/12（木）までにお知らせください。

■受付開始（10：00～）【情報メディア教育研究センター本館】

■情報リテラシー（10：30～11：30）

講師：稲垣 知宏 教授（情報メディア教育研究センター）

テーマ：「測定の不確かさ」

実験で行う測定には不確かさがある。ここでは、簡単な測定を行い、測定に伴う不確かさには確率的な取り扱いができるものとできないものがあることを理解する。また、二項分布と正規分布、ポアソン分布の関係等を確認し、それぞれの分布を仮定し、期待値を計算できるようになる。

■情報リテラシー（11：35～12：25）

講師：水野 英則氏（株式会社サタケ 執行役員 技術本部副本部長）

テーマ：「お米の安心・安全・美味しい・健康を支えるサタケの技術」

1. お米の安心・安全を支える技術
2. お米の美味しさを支える技術
3. お米で健康を支える技術

■昼食（英語サロン、留学生との交流）（12：30～13：15）

■分野別セミナー（13：30～17：00）

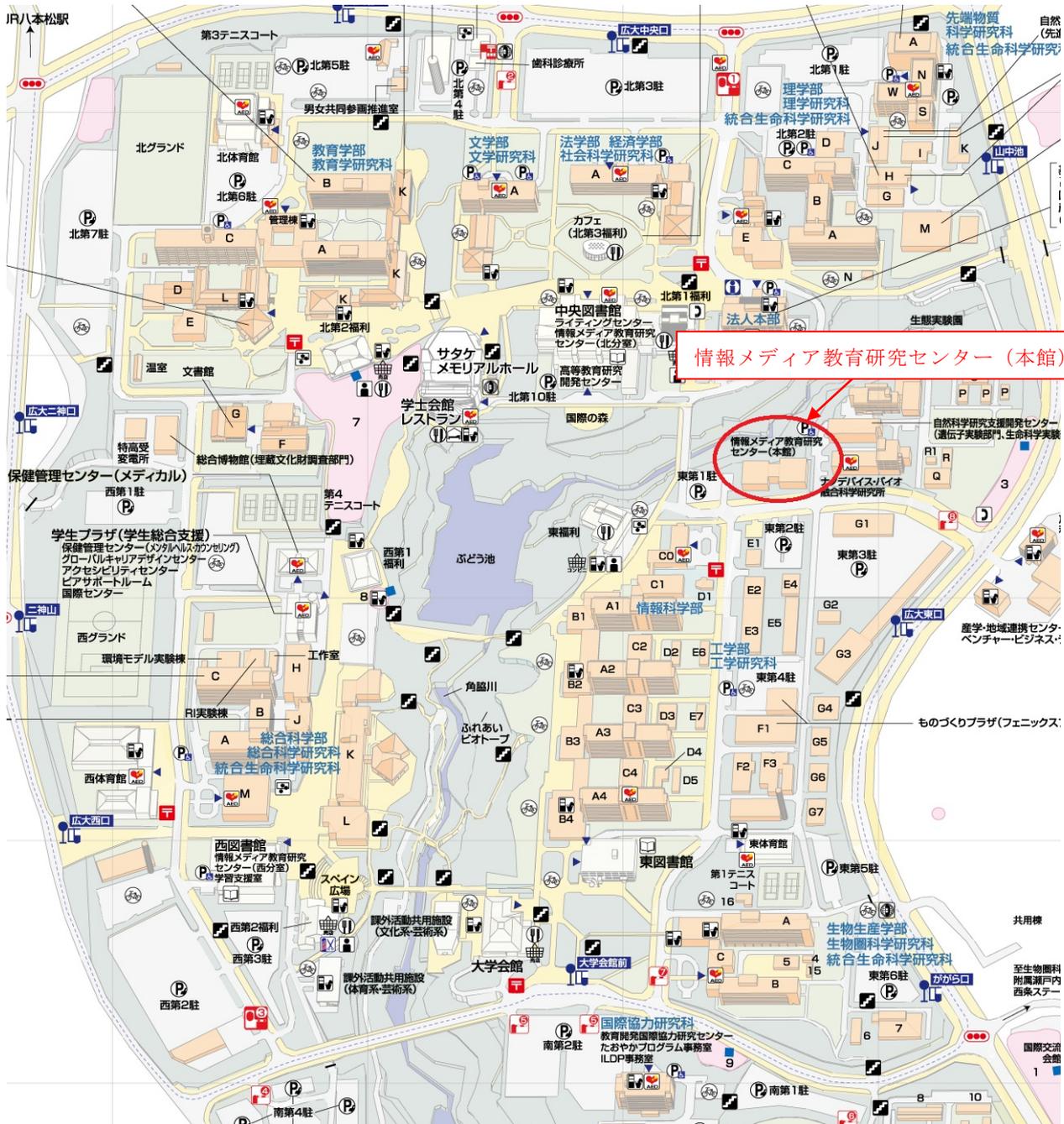
講師：早坂 康隆 准教授（理学研究科）

テーマ：「地質年代学と個体地球科学の発展」

場所：理学部 A715（光学実験室）

概要：中世のヨーロッパでは宇宙の年齢はたかだか数万年くらいと考えられていた。岩石の正確な年代がわかるようになったのは、放射性元素を用いた同位体年代学の進歩に負うところが大きい。これによると地球の年齢は45.6億年とされているが、岩石が残されていない初期地球の年齢はどのように推定されているのだろうか。ステップステージセミナーでは、このような問題を、ジルコンのウラン-鉛年代測定法の実際の手続きを交えて、講習する。

事前学習：ウランの同位体とウランシリーズ、アクチニウムシリーズの放射壊変系列について下調べをして来て下さい。もし、年代測定をしたい花崗岩があったら100グラムほど持参して下さい。



**【連絡事項】**

- セミナー中に写真やビデオ撮影を行います。写真やビデオは、GSC 広島ホームページや報告書に掲載される場合があります。
- 昼食の持参をお願いします。キャンパス内の食堂は営業していませんので、ご注意ください。
- 弁当のごみは持ち帰ってください。

**【持参物】**

- 筆記用具，実験ノート，名札，昼食

**【お問合せ先】**

広島大学 高大接続・入学センター

担当：中村，伊藤

T E L : 082-424-6172

E-Mail : nyusi-kodai@office.hiroshima-u.ac.jp

当日緊急連絡先：090-8628-3867